

○ 適している布
普通地~薄地のコットンやリネン(ブロード、シーチング、ダブルガーゼ、ワッフルなど)、薄地ウールなど
※サテン、きもの地など、やわらかくすべりの良い布は扱いが難しくなります。

✕ 適さない布
中厚地~厚地(デニム、帆布、オックスフォード、別珍、パイルなど)、極薄地(オーガンジー、ガーゼ、レースなど)、皮革および合成皮革、コーティング加工布など

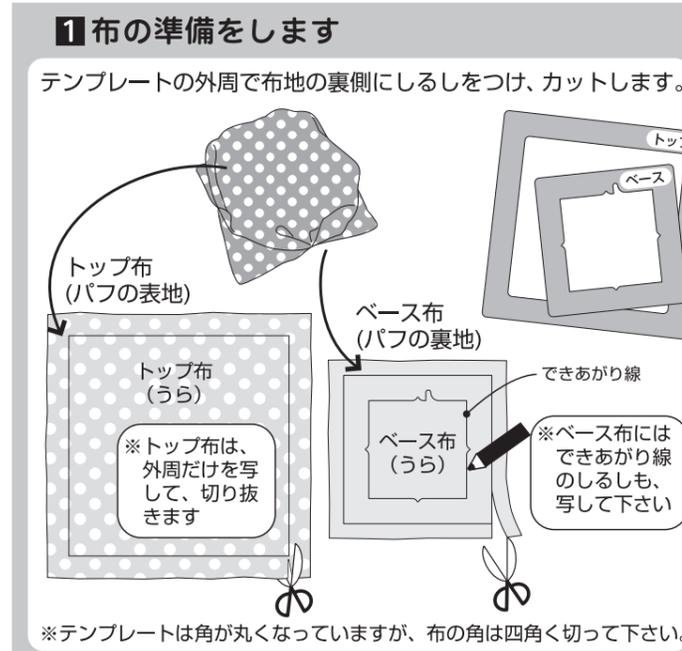
用意するもの
・布地、わた(手芸用ポリエステル綿など)

	トップ布	ベース布	わた
L	13.4cm角	9cm角	約2~4g
S	10.4cm角	7cm角	約1~2g

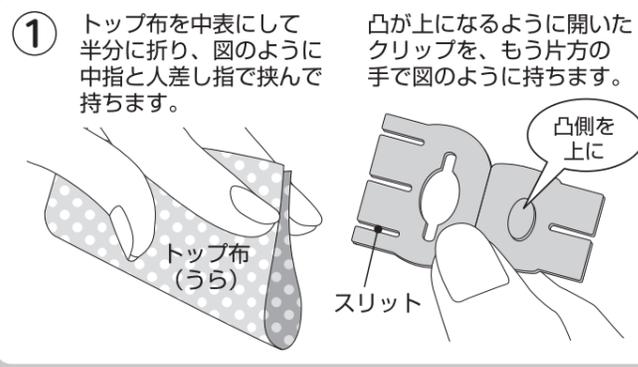
※わたの量は目安です。種類や詰め加減によって異なります。
※つぶ綿は適していません。

・待針
・片押さえ(ファスナー用押さえ金) ※ミシンを使う場合
・はさみ、ぬい針、ぬい糸
・鉛筆またはボールペン、チャコペル等
※布の裏面にしるしをつけるので、裏うつりしないもの

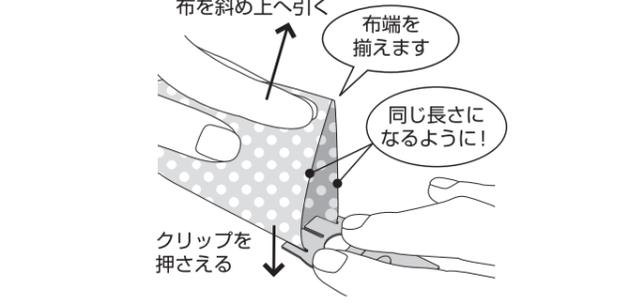
基本のパフの作り方



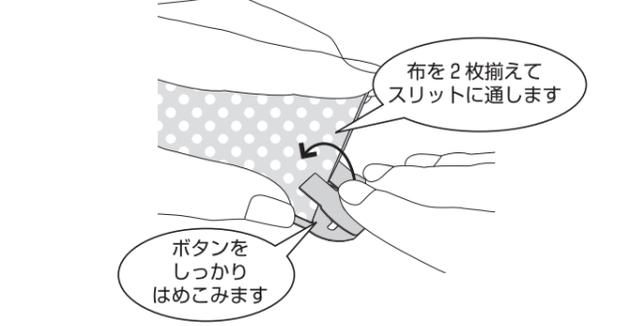
2 クリップでひだをたたみます



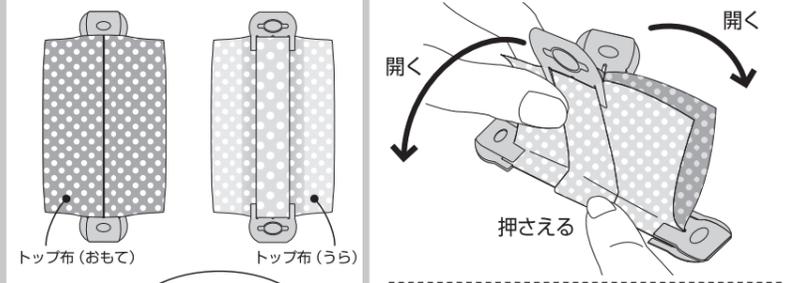
クリップを指で押さえて、軽く布を上へ引きます。(強く引きすぎるとスリットから布が外れるので注意して下さい)



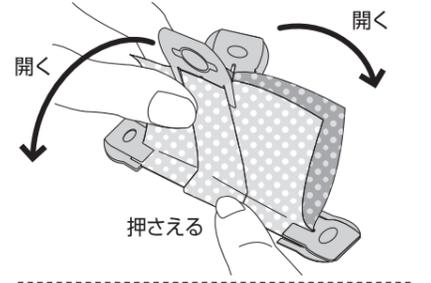
反対側のクリップ(ボタンのある側)を起し、スリットに布を通します。ボタンがカチッと合まるまでしっかり押さえます。



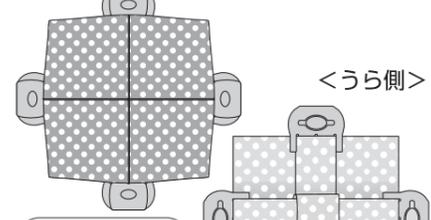
3 反対側も同じようにクリップをとめます。



とめ終わったら、ひだを整うように指で押さえながら開きます。



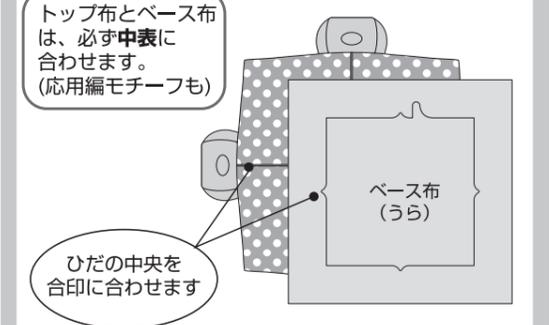
<おもて側>



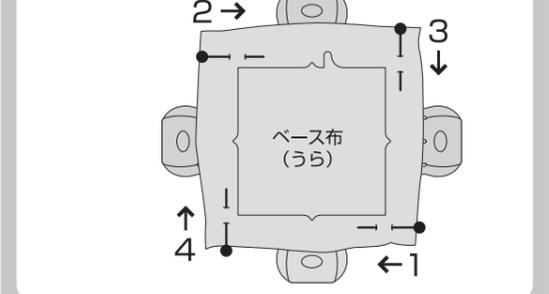
布によっては、図のようにひだが整いにくいことがあります。
4でひだのゆるみを縫いこまないよう、気をつけて下さい。

3 トップ布とベース布を合わせます

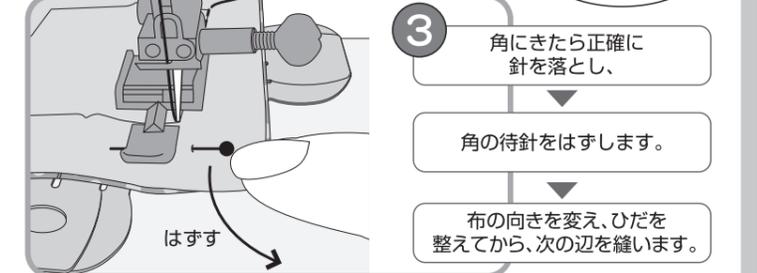
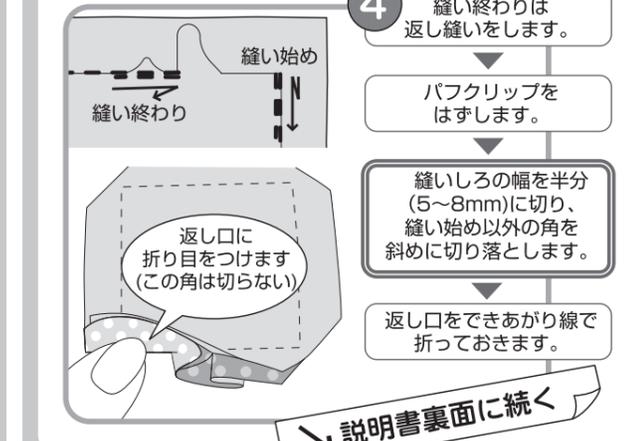
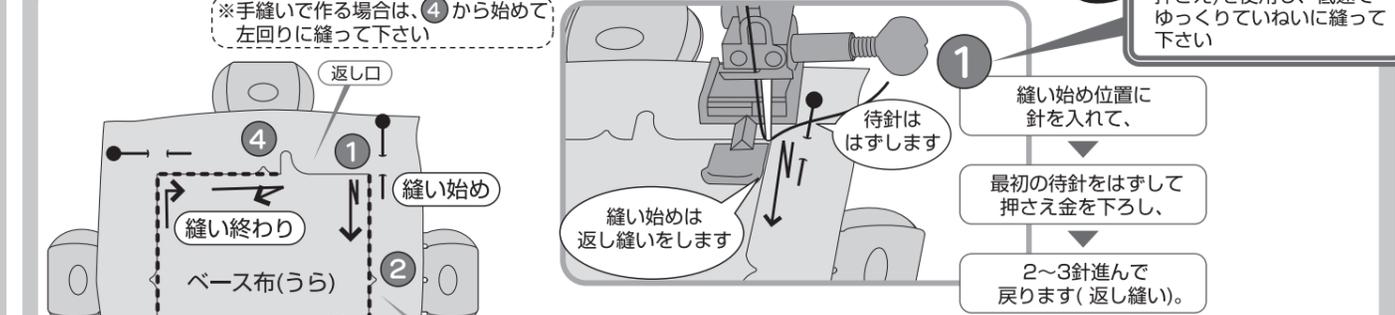
トップ布とベース布を中表に合わせます。



ぬいしろ部分を数字の順番に、図のように待針で止めます。



4 縫い合わせます ※手縫いでも作れます。(縫い始めと縫い終わりは返し縫い、その他はなみ縫い) ※〈S〉は角の縫い始めで押さえ金がクリップを踏むことがあります。注意して下さい。



※パフクリップを縫わないようご注意ください。ミシンの破損の原因となります。

説明書裏面に続く

5 裏返します

重要! パーは軽く支える程度です(押し込まない)

ひだは広げます

シリンジ

返し口から布のおもて側が少し見えるまで

① シリンジを立て、返し口に差し込みます。

② パーの丸い端を布の上からシリンジの穴に軽く差し込みます。

③ 布を図のようにパーに沿わせて、返し口を持ち上げます。

④ シリンジからはずし、手で完全に裏返します。

⑤ パーのU側を返し口から差し込んで、角の形を整えます。(きれいに仕上げたい場合は目打ちなどをお使い下さい)

6 わたを詰めます

重要! わたは10~15回に分けて少しずつ詰めます

必ず、シリンジの柄とパーのU型を図のように合わせて下さい

① シリンジを返し口から差し込みます。

② シリンジのくぼみの間にわたを置き、パーのU側で押し込みます。必要だけ繰り返します。

③ わたをつめ終わったら、全体を軽く手でもんで形を整えます。

角にはわたが入らないように、中央部分を丸くふんわりと!

7 返し口をとじます

① タテ方向の縫いしろを折り込みます。

② できあがり線で縫いしろを内側に折りこみます。

③ 手縫い(ラダーステッチ)で返し口をとじます。

重要! 布の内側から針を出して、あき口を同じ針目で交互にすくいます。

パフのつなぎかた

*基本のつなぎかた

つなげたいパフ同士を合わせて、図のようにベース布側を上につまんで持ちます。

① 玉結びをして、角から縫い始めます。トップ布とベース布の間(◀)に針を入れ、ベース布から針を出して糸を引き、玉結びを隠します。

② ベース布をすくって、巻きかがりします。
*針は布地に対して垂直に刺します。縫い目は斜めに糸が渡ります。

③ 縫い終わりはトップ布とベース布の間に針を出して玉止めします。玉止めしたすぐそばに針を入れ、少し離れたところから針を出して糸を引き、玉止めを隠して糸を切ります。

トップ布に糸が出ないように縫うときれいに仕上がります

*たくさんつなぐ場合

① まず帯状につなぎます。② 帯状につないだモチーフ同士を並べて縫いつなぎます。

角はクロスにしっかり縫います

*全体を見てモチーフの幅が合うように調節しながらつなぎましょう。
*バッグなど強度が必要な場合は、縫い目を細かくして、必要に応じて裏地をつけて下さい。

ご案内

パフクリップを一度にたくさんお使いになりたいときは、「ふんわりパフクリップ クリップセット」<L>、<S>をお求め下さい。

取扱上の注意

●ミシンを使用する場合は、本品(パフクリップ)を縫わないようにくれぐれも注意して下さい。ミシン及びミシン針の破損の原因となり、また、けがのおそれがあります。●高温により変形しますのでアイロンなどのご使用はお避け下さい。●極薄地、中厚~厚地、すべりのよい布、硬い布等には適していません。●過度の力が本体に加わると破損・変形の原因となります。●長期間使用しない場合は、布地をセットしない状態で保管して下さい。●用途外のご使用はお避け下さい。

応用編 わたを詰めずに、ひだのアレンジを楽しむこともできます。

バラモチーフにする場合

① 基本のパフの⑤まで作ったらひだの中央をつまんでねじり、バラの花のように整えます。

② ① 形が崩れないように、ひだを何ヶ所か止めます。玉結びをして、返し口から針を入れ、外側のひだと内側のひだの接しているところに針を出します。

③ 内側のひだを外向きに少しすくいて、返し縫いのようにして元の位置のすぐ近くに針を入れます。ひだの中をくぐらせて次のポイント(外側のひだと内側のひだの接しているところに針を出し、糸を引きます。

④ 同様に3~4ヶ所止めたら、ひだの中の目立たないところに玉止めをして、針をベース布側へ引き出し、糸を切ります。

返し口をとじて完成です

クロスモチーフにする場合

① トップ布のうら・おもてを逆にして、基本の①②を作ります。③ではトップ布とベース布を中表に合わせます。

② ④⑤を参考に縫い合わせ、おもてに返します。

③ 玉結びをして中央から針を入れ、ひだ山を縫いとめます。(ひだ山の上から2mm位の位置で)

④ 一周縫ったら、中心へ針を出します。(上から3~4mm位の位置へ)

⑤ 引き締めて玉止めをし、針をベース布側へ引き出して糸を切ります。

返し口をとじて完成です

風車モチーフにする場合

① トップ布を中表に2つ折りにし、クリップ中央のスリットに差し込みます。

② 手前側の布を右へ開き、右端のスリットに入れます。

③ 左の布を左端のスリットに入れます。

④ 布がずれないように注意しながらクリップを左へ倒します。

⑤ 右端の布を端のスリットに入れてクリップをとめます。

⑥ 四辺とも同じようにクリップをとめます。(ひだは全て同じ向き)

⑦ 基本の③~⑤と同様にベース布と縫い合わせて返します。

⑧ ひだを伸ばし、ピラミッド形にします。

⑨ 頂点を押しつぶしながら、ひだを左回りに倒します。

⑩ 頂点が正方形になるように整えて折り目をつけます。

返し口をとじて完成です

右回り風車にする場合

① 左回り風車の作り方と左右を逆にして、クリップをとめます。

② 右上のひだになります。